

丈夫で育てやすい。周年花をよくつける。

< 植物名 >

エウフォルビア
ハナキリン

水やり

乾かし気味に管理する。

置き場所

夏は戸外、春・秋は室内外の日当たりの良い場所に置く。

用土肥料

特記事項なし。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

冬は室内の、日の当たる暖かい場所に置く。2 以上で冬越し可。

使い方 鉢植え

学名 Euphorbia mili

英名 crown of thorns

属名 トウダイグサ

科名 トウダイグサ

性状(分類) 多年草(多肉植物)

原産地 マダガスカル

花の色 赤(苞)

開花期 周年

購入時期

草丈 100 ~ 200 cm

ID 113

季節 春、夏、秋、冬、

JFコード 21329



冬越しと置き場所

丈夫で育てやすい。夏は戸外、冬は室内の、春・秋は室内外の日当たりの良い場所に置く。特に冬場は、室内の暖かい場所に置いてよく日に当てるようにすると形よく生長する。2 ~ 3 で冬越しする。

その他の解説

特徴 1

花弁に見えるのは苞で、花はその中心に小花が咲く。乾かし気味に管理する。

特徴 2

茎にするどいトゲがあり、茎の頂部の生長点のみ葉をつける。赤い花弁に見えるのは苞で、花はその中心に小花が咲く。サボテンのモクキリンによく似た姿をしており周年よく花をつけることから、ハナキリンの名がついた。英名は"キリストの棘"という意味。